

2019年 9月度 平日コース

賽の河原と 魔界人(まかいびと)めぐり

令和元年 9月12日(木) 距離12キ。

緊急時連絡先

080-5356-6242

2019年度
新規会員募集中

《コース》

柵尾公園(JR・二条駅)～六角獄舎～高山寺～壺井～菅原道真(北野天満宮)～清明神社～崇徳院(白峯神宮)～地下鉄・鞍馬口駅

雷神・菅原道真
死後、雷神と結びつき、都で相次ぐ凶事を起こしました。結果、政敵の死や清涼殿の落雷、怪異が朝廷を襲いました。(北野天満宮)

大怒霊・崇徳院
生前から「大魔王となって天下を覆す」と明言したと伝わり、皇族が最も恐れたといわれている(白峯神宮)
「まりの神様」として崇敬され、野球・サッカーを始めとする球技の上達を願う参拝者が多く訪れます

西ノ京円町には、平安時代「西囚獄・右獄」という牢屋がありました。旧字体で円は圓という字で、人を囲んだのが囚で、多人数を囲んだのが圓になります、つまり円町は、「牢屋」の町と成ります。

紙屋川(天神川)

この辺に西土手刑場があった
今は、竹林寺の墓地になっています

壺井
処刑前の末期の水
広隆寺参拝時の休憩所

三条坊町
児童公園

柵尾公園
(スタート)

春日通(佐井通)
佐井川が流れていてこの辺りは西院(さい)の河原と言われていました。子供の葬送地でした。

高山寺(西院之河原旧跡)
本尊の地蔵菩薩は子どもたちを地獄の鬼から守って下さり親から絶大な信仰がありました。

六角獄舎
跡地には、斬首に使われた刀を洗う「首洗井」があった。井戸は埋め立てられたのですが、井げた部分だけは庭の一角に移設されています。心霊スポットになっています。

「山脇東洋観臓之地」の台碑
東洋の臓志の自筆の文字を組み合わせている観臓された「屈嘉」の霊をなぐさめるための碑でもありました。

「殉難勤王志士忠霊塔」
塔は解剖の際の手術台？

《ウォーキングマナー5ヶ条》

1. やあ！おはようあかるい挨拶さわやかに
2. 信号で あわてず あせらず待つ余裕
3. ひろがるな 参加者だけの道じゃない
4. 自分のゴミ 自分の責任持ち帰り
5. 歩かせて いただく土地に感謝して

お願い

1. 歩きスマホ等は止めましょう
2. 傘をさす場合、ノルディックを使用される場合はアンカーの前を歩きましょう
3. 神社仏閣では、敬虔な態度で

実施日	タイトル	コース	区分(距離)	集合場所	集合時間
9月19日(木)	第174回 平安神宮神苑 無料公開W	JR・京都駅～五条大橋～建仁寺～高台寺～平安神宮(神苑)～JR・京都駅	特別基地(10k)	JR・京都駅	9時45分
9月22日(日)	シリーズ 平家物語① 武士の台頭(自由歩行)	柵尾公園(JR・二条駅)～高松神明神社～東三条殿址～京都御苑・厳島神社～白河北殿～積善院～岡崎公園～円山公園～西行庵～八坂神社～崇徳天皇御廟～JR・京都駅	7ヶ所(12k)	柵尾公園(JR・嵯峨野線二条駅)	9時45分
9月26日(木)	彼岸花と亀山城下町ウォーク	JR・亀岡駅～穴太寺～亀岡運動公園～亀山城下町～山内スポーツ～JR・亀岡駅	WST(13k)	JR・嵯峨野線亀岡駅	9時45分
10月5日(土)	立命館大学くさつキャンパスの木瓜原遺跡と学食(100名)	JR・南草津駅～立命館大学くさつキャンパスの木瓜原(ほけわら)遺跡・学生食堂利用～JR・南草津駅	歩行(8k)	JR・琵琶湖線南草津駅	9時45分
10月6日(日)	シリーズ 平家物語② 驕れる平家終焉(自由歩行)	梅小路公園(JR・梅小路京都西駅)～西八条殿～清盛終焉推定地の碑～三十三間堂～高台寺公園～清盛茶毘(愛宕念仏寺元地)～六波羅密寺～JR・京都駅	7ヶ所(11k)	梅小路公園(JR・嵯峨野線梅小路京都西駅)	9時45分

尺度 1:15,000

190911N001A



NPO法人 京都府ウォーキング協会
TEL 075-353-6464
FAX 075-352-4600



西院の地名の由来は、

淳和上皇(じゅんな)の離宮・淳和院が位置的に御所の西にあった事から西院と呼ばれるようになる。京福嵐電及び阪急の西院駅があるが、京福嵐電は「さい」と呼び、阪急では「さいいん」と呼ぶ。

西院(さい)の河原伝説

春日通(佐井通)、昭和期まで、佐比(佐井)川と呼ばれる川が流れていた。河原には、多くの捨て子、亡骸が遺棄されるなど、凄惨な状態であったという。親に先立って亡くなった子どもたちが、あの世で石の塔を積む『賽の河原地蔵和讃』にてくる「賽(さい)」が「佐比(さい)」や「西院(さい)」と同じ発音であることなどから、『西院(さい)の河原伝説』を生んだと言われている。

高山寺(こうさんじ) 通称:西院の河原 子ども守護・子宝祈願

山門の右手に「西院(さい)之河原旧跡高山寺」左手に「淳和院跡」の石標が立っている。僧・善西が開いた高西寺が、豊臣秀吉の御土居築造後、今の地に高山寺と名を改めて移り現在に至る。

高山寺 本堂内 御本尊・子安地蔵尊 安産・子授けのご利益

前身高西寺において、室町幕府8代将軍足利義政(よしまさ)の正室である日野富子が、お地蔵様に子授け祈願し、無事に義尚(よしひさ)を出産した伝説があります。

※義尚が生まれたばかりに、将軍の後継者争いが起こり京都を大戦火にした「応仁の乱」が長期化する要因の1つになった。



境内の地蔵菩薩像

小石仏を供養するため、明治35年、本山の金戒光明寺(くろ谷さん)から移されたものである。周囲に阿弥陀などの小石仏が取り囲み、まさに賽の河原の様相を伝えている。

(足元の無数の小石仏は豊臣秀吉が築いた御土居を掘り起こした際に出てきた仏です)

今では河原は姿を消しましたが、子安地蔵尊とさいの河原の地蔵像は、亡くなった子、生まれて来る子、すべての子どもたちを見守り続けています。

円町の「円」という字

旧字体では「圓」という字で、人を囲んだのが、『囚』で、多人数を囲ったのが『圓』になります、つまり「牢屋」を表したということです。『円』は『圓』の略字で「円町は獄舎の町である」となります。直裁的に『ひとや町』とは言わずに、『円町』と丸く言い表す。

字書に『牢獄の事は、ひとや』とあり、平安時代、囚人を押し込めておく獄舎が二ヶ所ありました。一つは大内裏の東、現在の京都府庁の辺りに、東囚獄「ひがしのひとや」と呼ばれる獄舎がありました、もう一カ所の獄舎は西囚獄(にしひのひとや)と呼ばれ、その所在地ははっきりしていませんが、現在の円町交差点の北辺になるとされています。

紙屋川の西土手刑場 (西の刑場の正式名は西の御仕置場)

紙屋川から西側は、洛外になっており、昔から獄舎や刑場が置かれたところでした。江戸時代には竹林寺の南に墳墓地があつて、明治維新まではこの辺りを『西の御仕置場』と言ひ、ここで罪人の首を切ったと言われています。

現在は円町北東にある「竹林寺」の墓地になってます。無縁仏や、西土手刑場で処刑された人たちを供養しています。

かつて路面電車の施設工事をするときこの周辺を掘り返したときに、多くの人骨が出たのも不思議なことではありません。

壺井

※末期の水・六角獄舎の囚人は、市中引き回しの後、西土手刑場で斬首されました。一条戻り橋では最後の小餅を与えられ、西土手刑場の西にあった壺井では末期の水を罪人に飲ませたというという記述が残っています。壺井の階段を下りていくと中にはお地蔵さんが祀られています。井戸の中から掘り出された壺の中に、座した地蔵が納められており「壺井地蔵」と名付けられた。

壺井※名水

奈良時代の僧・行基は、諸国巡礼で、この地に訪れた際、たまたま疫病が流行、偶然野中に湧き出る霊水を見つけました。この霊水に薬を合わせて病人に飲ませると、たちまち病気が治ったということで、世間の信仰を受けました。これが壺井の始まりです。又、太秦広隆寺へ参拝する人や丹波地方へ通じる道で、道行く人々に水を提供する名水でした。休息する茶所も多く有りました。

六角獄舎 正式には「三条新地牢屋敷」

江戸時代には、西囚獄(右獄)はすでになく、東囚獄(左獄)は1585年に豊臣秀吉の命により現在の御池小川上がったところに移転します。その後、1708年の京都大火で大宮六角に移り、六角獄舎と呼ばれるようになりました。明治時代に山科に移転して京都刑務所となっています。

日本近代医学発祥の地の碑 (罪人の尊い命のおかげ)

1754年六角獄舎で医師、山脇東洋が日本で初めての「腑分け(人体解剖)」を行いました。西土手刑場で5人の罪人が斬首刑に処せられます。斬首刑が行われたことを知り、刑死体の腑分けを願い出ます。京都所司代酒井忠用(ただもち)は深い理解を示して許可を出します。東洋と3人の藩医は、日本で初めて人体の内部を直接観察する事ができました。東洋たちは「屈嘉(くつが)」という刑死人を解剖し、その臓器を観察し、記録を取り絵図を描きました。この時の観察記録が、1759年に刊行された「蔵志(ぞうし)」で、日本で最初の人体解剖記録です。東洋の影響を受け、江戸で前野良沢、杉田玄白らがより正確性の高いオランダ医学書の翻訳に着手します。こうして「解体新書」が生まれる事となるのです。